

1 月末～2 月に開催したシェアカン（指導医と研修医とが臨床経験を共有（”シェア”）し、1 つの症例から最大限学ぶ方法を考える”カンファレンス”）2 回分の内容をシェア致します。

呼吸器内科 吉田匠生 先生の司会で、

- ① 新型コロナウイルスについて
- ② 原因不明の発熱症例についてカンファレンスと教育回診
の 2 回を開催しました。

連日報道されている新型コロナウイルスについて、学生・研修医の先生方は既に当院感染症顧問の永田理希 先生からのレクチャーを受けているのですが、本カンファレンスでも呼吸器内科の立場から吉田先生に解説して頂きました。

次いで、鈴木より以下の Lancet 論文と”僻地で世界最先端”のフレーズでおなじみ、西伊豆健育会病院 仲田和正 先生による日本語解説を参加者に配布しました。研修医の先生方は、2 年目以降には原著論文をどんどん読めるように育てて頂きたいと思います。

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/31986264>

http://www.nishiizu.gr.jp/intro/conference/2020/conference_2020_03.pdf

別の回では、同じく呼吸器内科 吉田先生より現在進行中で原因を特定できない発熱症例について、まずカルテを供覧しながらプレゼンテーションして頂きました。参加者がそれぞれのバックグラウンドや経験を踏まえてコメントし、30 分ほどディスカッションした後に全員でベッドサイド回診しました。

新しい教育の形式として、学習者側にも好評であり、また様々な立場から複数人の指導医で教えられる点（三人寄れば～、ですね）からコチラ側も良い感触を得ました。

今後も加賀市医療センターでは情熱を持った複数の指導医により教育の高みを目指して参ります。

なお、当院の学習環境ですが以前に報告した通り多くの医学書・DVD を購入し、この 2 年間で本棚が一杯になるほどです。特に映像教材は活字が苦手な人にも好評で、少なくとも北陸においてこれほど揃えている教育病院は稀有です。当院へ実習・研修に来られた学生・研修医の方は、期間中にガツガツ勉強しないと損ですよ！（自分 1 人で購入するとウン十万円…）

英語での検索については UpToDate と Clinical Key が院内 PC から接続可能で、研修医の先生方には新たな症候・疾患を経験する度に検索するよう指導しております。

残念ながら抄読会は正式に立ち上げていないのですが、研修医からのリクエストがあれば

ばいつでも指導医が応えるつもりでいます。

今年度も残り少なくなってきましたが、たすきがけの 1 年目の先生方は当院にいる間に最大限学んでいきましょう！

文責：内科・リウマチ科（研修担当） 鈴木 康倫